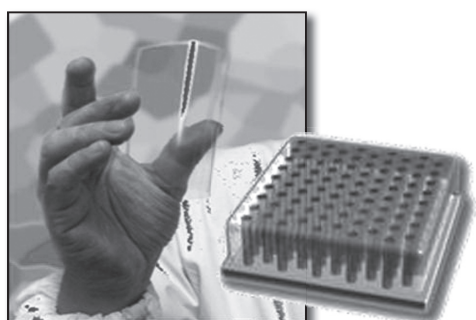


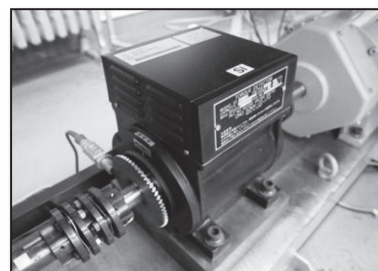
令和2年度

イノベーションを創出できる実践的技術者の育成

専攻科学生募集要項



新機能材料工学コース



環境エネルギー工学コース

総合システム工学専攻



医療福祉機器開発工学コース

区分	願書受付期間	検査日	合格発表日
推薦選抜	令和元年5月14日(火) ～5月16日(木)	令和元年5月25日(土)	令和元年5月30日(木)
学力選抜	令和元年6月3日(月) ～6月5日(水)	令和元年6月15日(土)	令和元年6月20日(木)



独立行政法人 国立高等専門学校機構

沼津工業高等専門学校

www.numazu-ct.ac.jp

目 次

入学案内

I	専攻科の目的	i
II	専攻科概要	i
1	1 専攻3コース制	i
2	2 専攻科の特徴	i
2-1	2-1 特例適用専攻科と学士(工学)の学位取得	i
2-2	2-2 JABEE	i
2-3	2-3 学外実習	ii
2-4	2-4 活躍する専攻科生	iii
3	3 ディプロマ・ポリシー	iv
4	4 カリキュラム・ポリシー	v
5	5 入学時に必要な経費	vi
6	6 入学金・授業料等の免除	vi
7	7 奨学金貸与制度	vi
8	8 学生寮について	vi
9	9 先端融合テクノロジー連携 教育プログラムについて	vii

学生募集要項

I	募集人員	1
II	II アドミッション・ポリシー	1
III	III 選抜方法	1
IV	IV 推薦選抜	1
1	1 出願資格	1
2	2 推薦基準	1
3	3 入学願書受付	1
4	4 出願手続	2
5	5 判定方法	2
6	6 選抜日時及び会場	3
7	7 合格者発表	3
8	8 合格とならなかった者の学力選抜の受検	3
V	V 学力選抜	3
1	1 出願資格	3
2	2 入学願書受付	3
3	3 出願手続	4
4	4 判定方法	5
5	5 選抜日時及び会場	5
6	6 合格者発表	5
VI	VI 入学手続	5
VII	VII 障がいのある者の出願	5
VIII	VIII その他の注意事項	6

添付の出願書類

- ・ 専攻科入学願書
- ・ 写真票・受検票
- ・ 専攻科自己申告書
- ・ 推薦書
- ・ TOEICスコア報告書
- ・ 入学検定料振込用紙

入学案内

I. 専攻科の目的

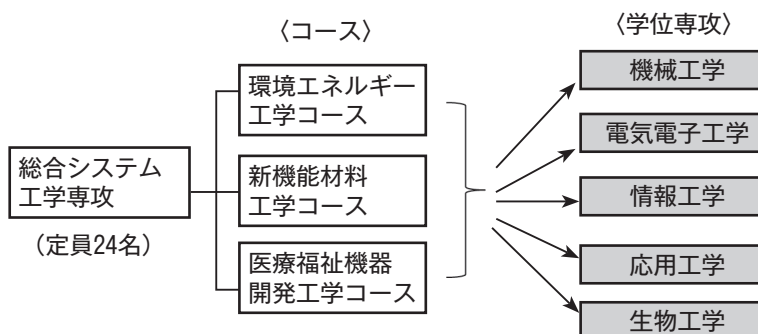
本専攻科は、高等専門学校教育における成果をふまえ、研究指導を通じた工学に関する深い専門性をもとに、創造的な知性と視野の広い豊かな人間性を備えた技術者を育成するとともに、産業社会との学術的な協力を基礎に教育研究を行い、もって、地域社会の産業と文化の進展に寄与することを目的としています。

II. 専攻科概要

1. 1専攻3コース制

本専攻科は、1専攻3コースで構成され、修業年限は2年間です。コースには、環境エネルギー工学コース、新機能材料工学コース、医療福祉機器開発工学コースがあり、全体の入学定員は24名です。

専攻科の課程を修了し、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構の定めた条件を満たした者には、学士（工学）の学位が授与されます。（学位審査手数料32,000円が必要です。）



2. 専攻科の特徴

2-1. 特例適用専攻科と学士（工学）の学位取得

本専攻科は、特例適用専攻科に認定されており、学位申請では学修総まとめ科目の履修計画書（A4判2頁）と成果の要旨（A4判2頁）が課され、従来の学修成果レポート提出と筆記試験は免除されます。また、所定の単位条件を満たして学修総まとめ科目の履修計画書と成果の要旨を提出すれば、原則申請者全員に学位が授与されます。

2-2. JABEE

本校では、本科4年生から専攻科2年生までの4年間について、単一の技術者教育プログラム「総合システム工学プログラム」を構成しており、JABEE（日本技術者教育認定機構）の認定を受けています。JABEE認定は、本校の技術者教育が4年制大学の教育と同等であることを保証するとともに、プログラム修了生は、国際的に通用する、基本的学力および技術力を有する者として、社会に受け入れられることとなります。

プログラム修了者は、修習技術者と称することができ、技術士の資格試験において第一次試験が免除されます。



環境エネルギー工学コースの実験



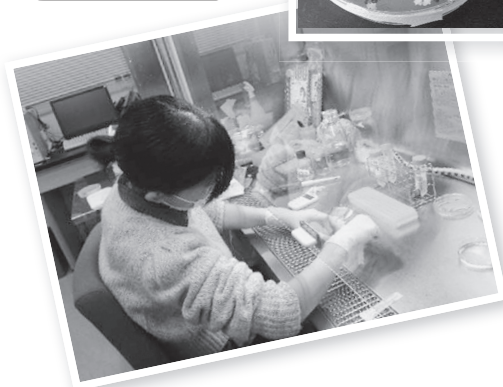
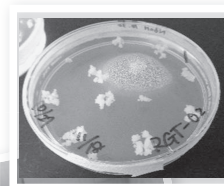
沼津工業高等専門学校 専攻科
総合システム工学プログラム
Multidisciplinary Engineering

2-3. 学外実習

本専攻科では、1年次後期に学外実習（長期インターンシップ）を必修として課しています。実習期間は、10月から翌年1月までの約4か月間です。実習先は、企業の現場から大学等の研究室まで様々で、設計・製造・開発や実験・解析・研究について実践経験を通して学修します。

学外実習では、与えられた課題に対し、チームの一員として粘り強く取り組み、その遂行過程と結果を報告会で分かりやすく報告する能力を身に付けることも重要な目的の一つにしています。事前学習報告書を実習実施前に提出してから実習に臨むとともに、12月の中間報告会と2月の最終報告会で、実習内容について文書と口頭での発表で報告します。

**実習期間
約4か月**
10月から1月まで



最終報告会での発表の様子

(1) スケジュール



- 6月
受入機関募集（受入票による申し込み）
学生に順次開示
- 7月～8月
実習先決定
指導教員と実習先の打合せ
- 9月
学生向け事前研修会（学内実施）
事前学習報告書提出
- 10月初旬～1月下旬
実習実施
教員が適宜実習先を訪問
- 報告会
12月初旬：中間報告会（学内限定）
2月初旬：最終報告会（一般公開）

(2) 実習先 (平成30年度)

企 業	アジア航測株式会社(株)日立ハイテクサイエンス
	株式会社アルバック
	株式会社イーグステクノロジーズ
	臼井国際産業株式会社
	株式会社葛山製作所
	合同会社Shape in Space
	東海プラント分析センター株式会社
	東邦化工建設株式会社
	株式会社日立ハイテクサイエンス
	富士電機株式会社
	株式会社ホクレア・システムズ
	株式会社明電舎
	矢崎総業株式会社
	横浜ゴム株式会社
	団 体
有隣厚生会富士病院	
物質材料研究機構	
大学(大学院・国内)	大阪大学大学院基礎工学研究科
	首都大学東京大学院システムデザイン研究科
	名古屋大学大学院工学研究科
	東京医科歯科大学学生体材料工学研究所
	東京工業大学物質理工学院
	北陸先端科学技術大学院大学
	奈良先端科学技術大学院大学
大学(海外)	韓国国立クモ工科大学
	韓国ウソク大学

2-4. 活躍する専攻科生

専攻科研究では、指導教員が一定水準に達した学生に、国内学会や国際会議での研究発表の機会を与え、広く研究成果を評価してもらいます。発表学生が、優秀発表賞などで表彰されることも少なくありません。さらに、学会論文誌への掲載に向けた論文投稿も行っています。次頁の表は、平成30年度の学外発表と学外受賞の状況です。



RCJ信頼性シンポジウム奨励賞を受賞した専攻科2年生

論文発表、国内学会発表および国際会議発表（平成30年度）

種 別	1 年 生			2 年 生			合 計
	EC	AC	MC	EC	AC	MC	
論文発表	0	0	1	1	1	0	3
国内学会発表	5	5	10	8	8	14	50
国際会議発表	1	0	0	0	2	4	7

専攻科学生の学外受賞（平成30年度）

コース学年	受 賞 名
AC2	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア2018, 優秀ポスター賞
MC2	17th International Conference on Precision Engineering, 最優秀論文賞
	The 13th International Symposium on Advanced Science and Technology in Experimental Mechanics, Encouragement Award
	第28回RCJ信頼性シンポジウム, 奨励賞

EC：環境エネルギー工学コース、AC：新機能材料工学コース、MC：医療福祉機器開発工学コース

3. ディプロマ・ポリシー

専攻科に2年以上在学し、所定の単位修得条件の下で合計62単位以上を修得し、以下の能力を身に付けた者の修了を認定します。

A 社会的責任の自覚と地球・地域環境についての深い洞察力と多面的考察力

(A-1) 「異なる文化、価値観」や「自然との調和の必要性」を理解し、工学技術上の課題に対して地球・地域環境との調和を考慮し行動することができる。

(A-2) 「工学倫理」および「社会問題に対して技術者の立場から適切に対応する方法」を理解し行動することができる。

B 数学、自然科学及び情報技術を応用し、活用する能力を備え、社会の要求に応える姿勢

(B-1) 数学、自然科学及び情報技術の知識を、環境エネルギー工学、新機能材料工学、医療福祉機器開発工学等の複合・融合領域に派生する社会的ニーズに応えるために活用することができる。

C 工学的な解析・分析力及びこれらを創造的に統合する能力

(C-1) 機械工学、電気電子工学、情報工学、応用化学、生物工学などの専門的技術を身につけ、これらの技術を複合的に活用して、環境エネルギー工学、新機能材料工学、医療福祉機器開発工学等の分野に創造的に応用することができる。

(C-2) 工学的に解析・分析した情報やデータをパソコン等により整理し、報告書にまとめることができる。

(C-3) 社会のニーズに応えるシステムを構築するために、エンジニアリングデザインを提案できる。

D コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力

(D-1) 日本語で、自己の学習・研究活動の経過を報告し、質問に答え、議論することができる。

(D-2) 自己の研究成果の概要を英語で記述し、発表することができる。

E 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力並びに自主的及び継続的に自己能力の研鑽を計画的に進めることができる能力と姿勢

(E-1) 工学技術に関する具体的な課題にチームで取り組み、その中で担当する実務を適切に遂行することができる。

- (E-2) 日常の業務や研究に関連した学会等が発行する刊行物を、定期的・継続的に目を通して実務に応用することができる。

4. カリキュラム・ポリシー

ディプロマポリシーに基づき、次の方針で教育課程を編成し、実施します。

- (1) 授業科目を一般科目、コース専門科目、専門共通科目および専門展開科目に分類して教育課程を編成します。
- (2) 一般科目は必修科目（工学倫理、語学）と選択科目（人文社会科学系）に分類され、必修8単位、選択2単位以上を履修します。
- (3) コース専門科目は選択科目（環境エネルギー工学、新機能材料工学、医療福祉機器開発工学）のみで構成され、所属コースのコース専門科目を10単位以上履修します。
- (4) 専門共通科目は必修科目（知的財産）と選択科目（数学、自然科学）に分類され、必修2単位、選択6単位以上を履修します。
- (5) 専門展開科目は必修科目（専攻科研究Ⅰ～Ⅲ、専攻科実験、学外実習、実践工学演習）と選択科目に分類され、必修24単位、選択10単位以上を履修します。
- (6) 設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の5科目群系に科目を分類した場合、合計6科目以上、各群系から1科目以上を履修します。
- (7) 修了認定の方針に示される各能力に対応する科目を1科目以上履修します。

ディプロマポリシーに示される各能力と授業科目は、以下のように対応しています。

A 社会的責任の自覚と地球・地域環境についての深い洞察力と多面的考察力

- (A-1) 一般科目（人文社会科学）、コース専門科目（環境エネルギー工学）
- (A-2) 一般科目（工学倫理）、コース専門科目（環境エネルギー工学、医療福祉機器開発工学）、専門共通科目（知的財産）

B 数学、自然科学及び情報技術を応用し、活用する能力を備え、社会の要求に応える姿勢

- (B-1) 専門共通科目（数学、自然科学）、コース専門科目（新機能材料工学）、専門展開科目（選択）

C 工学的な解析・分析力及びこれらを創造的に統合する能力

- (C-1) コース専門科目、専門展開科目（専攻科研究Ⅰ～Ⅲ、選択）
- (C-2) 専門展開科目（専攻科研究Ⅰ～Ⅲ）
- (C-3) 専門展開科目(選択)、コース専門科目

D コミュニケーション能力を備え、国際的に発信し、活躍できる能力

- (D-1) 専門展開科目（専攻科研究Ⅰ～Ⅲ）
- (D-2) 一般科目（語学）、専門展開科目（専攻科研究Ⅲ）

E 産業の現場における実務に通じ、与えられた制約の下で実務を遂行する能力並びに自主的及び継続的に自己能力の研鑽を進めることができる能力と姿勢

- (E-1) 専門展開科目（学外実習、実践工学演習、専攻科実験）
- (E-2) 専門展開科目（専攻科研究Ⅰ～Ⅲ）

【コース別教育課程編成・実施の方針】

教育課程編成方針の下、コースごとにコース専門科目が編成され、実施されています。

(1) 環境エネルギー工学コース

機械工学、電気電子工学、応用物質工学、情報工学などの工学分野を融合複合した、環境と新エネルギー、エネルギー変換工学及びエネルギー応用工学を中心に深く学修します。

(2) 新機能材料工学コース

機械工学、電気電子工学及び応用物質工学分野を支える基盤材料として、金属、セラミックス・炭素材料、高分子、生物材料の構造や物性、材料設計作成法について包括的に学修します。

(3) 医療福祉機器開発工学コース

機械工学、電気電子工学、情報工学などの工学分野並びに解剖生理学、生体医用工学など医学分野を融合複合した、医用機器工学、福祉機器工学などを中心に深く学修します。

5. 入学時に必要な経費（平成31年度）

費 目	金 額	備 考	
入 学 料	84,600円	入学年度のみ徴収。	
授 業 料	117,300円（半期分）	年額 234,600円を2期に分けて分納。	
入 寮 の 場 合	寄宿料	4,800円（半期分）	年額 9,600円（個室月額800円）
	食費等	150,855円（半期分）	年額 301,710円
	光熱水費等	22,750円（半期分）	年額 45,500円
	寮生会入会金	500円	入学年度のみ徴収。
	寮生会費	1,500円（半期分）	年額 3,000円を2期に分けて分納。
	エアコンリース料	13,000円（半期分）	年額 26,000円を2期に分けて分納。
	布団リース料（希望者のみ）	6,480円（半期分）	年額 12,960円を2期に分けて分納。
	小 計	199,885円（半期分）	年額 399,270円
その 他 の 諸 経 費	14,000円（半期分）	後援会入会金等入学年度のみ徴収含む	

- (注) 1. 納入金額は、規則等の改正により変更することがあります。この場合は入学手続きまでに連絡します。
いったん納入された入学料は返還しません。
2. 在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
3. その他、教科書・教材費が別途必要になります。

6. 入学料・授業料等の免除

(1) 入学料免除・徴収猶予

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が死亡したり、風水害等の災害を受けたりするなど、その他やむを得ない理由により入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、選考のうえ入学料の全額又は半額を免除、又は、その徴収を猶予することがあります。

(2) 授業料免除・徴収猶予

経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められた者、風水害等による災害を受け納付困難と認められた者には、選考のうえ授業料の全額又は半額を免除、又は、その徴収を猶予することがあります。

7. 奨学金貸与制度

(独) 日本学生支援機構の規定に基づき、学資の支弁が困難と認められ、かつ学業成績・人物ともに優れ健康である者に対し、本人の申請に基づき、選考のうえ(独) 日本学生支援機構から奨学金が貸与されます。

8. 学生寮について

本校には、学内に学生寮があり、遠距離等で通学できない場合等の事情のある者は、選考のうえ入寮することができます。

9. 先端融合テクノロジー連携教育プログラムについて

【概要】

先端融合テクノロジー連携教育プログラムは、豊橋技術科学大学（以下「大学」という。）と本校専攻科が強みをもつ教育資源を有効活用しつつ、卒業後、地域等の社会で活躍することができる分野横断型の実践的技術者を育成することを目的とし、大学と本校専攻科とそれぞれ連携・協力して実施するものです。

連携教育プログラム履修者は、大学と本校専攻科の双方に在籍し、それぞれの課程を修了することにより、大学卒業証書（学士の学位記）並びに本校専攻科修了証書が交付されます。

技術科学への探究心と未来を拓く技術を創造する熱意があり、知的好奇心が旺盛で専門分野の優れた知識・技術を有し、主体的・自律的・積極的に学ぶ姿勢があり、将来、地域社会で活躍することができる分野横断型の実践的技術者を目指す人物を求めます。

このために、「技術科学への関心・意欲・適性」、「専門分野の知識・技術」、「幅広い一般教養」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」ならびに「分野横断型の実践的研究計画」を重点的に評価します。

※課程のアドミッション・ポリシーなどの詳細は豊橋技術科学大学のウェブサイトを参照してください。

【沼津高専専攻科から出願可能な学部、課程、募集人員】

学 部	課 程	募集人員
工学部	電気・電子情報工学課程	若干名

【諸経費】 ※豊橋技術科学大学への納入となります。

(1) 入学料 …………… 141,000 円（半額免除） 入学手続き時に納入

(2) 授業料 1 年目（年額） …………… 267,900 円（半額免除）

授業料 2 年目（年額） …………… 535,800 円

半期分を金融機関に開設した口座から年 2 回に分けて口座振替方式により納入。

※在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。

(3) その他保険、教科書代等

【注】 上記入学料、授業料 1 年目（年額）については、半額免除適用後の額です。

なお、今後改定される場合がありますので、御了承ください。



令和2年度

沼津工業高等専門学校専攻科学生募集要項

I 募集人員

総合システム工学専攻 24名
環境エネルギー工学コース
新機能材料工学コース
医療福祉機器開発工学コース

II アドミッション・ポリシー

以下の意欲、学力及び経験を有する者を受け入れる。

- (1) 広い視野と深い専門性を身につけて、社会の発展、公衆の福祉に寄与する意欲を有する。
- (2) 工学教育を受けるために必要な数学、自然科学及び英語の学力を有する。
- (3) 基礎的な工学について、一定の指導と訓練を受け、実践した経験を有する。

III 選抜方法

これまでの学習成果、自己申告書、推薦書、試験、面接などによって確認します。

入学者の選抜は、推薦選抜と学力選抜による二つの方法で行います。

なお、入学定員に満たない場合は、第2次募集を実施することがあります。実施する場合は、本校公式ホームページ等に掲載します。

IV 推薦選抜

1. 出願資格

高等専門学校を令和2年3月に卒業見込みの者であって、推薦基準に基づき在学する学校長の推薦を得た者

2. 推薦基準

- (1) 学業成績及び人物が優れていると認められる者
- (2) 本専攻科を第一志望とする者

3. 入学願書受付

期 間	令和元年5月14日（火）～令和元年5月16日（木） 郵送の場合も令和元年5月16日（木）午後5時までに必着のこと。
時 間	午前9時～午後4時30分
場 所	沼津市大岡3600（〒410-8501） 沼津工業高等専門学校 学生課入試・国際交流係

4. 出願手続

(1) 出願は、次に掲げる提出書類を「本校学生課入試・国際交流係」宛に提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に専攻科出願書類在中と朱書きしてください。

(2) 提出書類

入学願書	本校所定の用紙に、本人が記入すること。 志望コースは第三志望まで希望できる。
写真票	本校所定の用紙に、写真を貼付すること。 貼付する写真は、出願時前3か月以内に撮影した上半身・正面向・脱帽・無背景のもの。写真の大きさは縦5cm×横4.5cm。 写真裏面に第一志望コースと氏名を記入すること。
受検票	本校所定の用紙に、本人が記入すること。
卒業(見込)証明書	出身学校長が作成したもの。 ただし、沼津工業高等専門学校に在学する志願者は提出を要しない。
成績証明書	出身学校長が作成し厳封したもの。 ただし、沼津工業高等専門学校に在学する志願者は提出を要しない。
自己申告書	本校所定の用紙に、本人が直筆で記入すること。希望する指導教員がいる場合は、希望指導教員名も記入すること。
推薦書	本校所定の用紙に出身学校長が作成したもの。 ただし、沼津工業高等専門学校に在学する志願者は、専攻科での指導を希望する教員が記入したものでも可とする。
検定料振込用紙	本校所定の用紙で検定料16,500円を金融機関窓口で振込のうえ、⑧願書添付用通知書を入学願書の裏に貼付すること。 ただし、ゆうちょ銀行からの振込については、添付の入学検定料振込用紙に書いてある注意点を参照すること。
受検票返信用封筒	封筒(長形3号)に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、242円切手(特定記録料金を含む)を貼付したもの(願書を直接持参する場合は不要)。
その他	① 現に日本国に在住している外国人は、居住する市区町村長の交付する「住民票」を提出すること。 なお、住民票にマイナンバーが記載されている場合には、黒色(マジック等)で塗りつぶすこと。 ② 他教育プログラム(本校以外)からの受検者は、出身学校の学習内容(出席時数、教育目標、講義内容)が確認できる資料を提出すること(様式随意)。 注) 令和元年5月7日(火)午後5時までに学生課入試・国際交流係へ問い合わせをすること。

(3) 出願上の注意事項

提出書類の不備なものは受け付けません。提出書類に不正の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

など、誤って納付された検定料は返還しますので、返還請求は本校学生課入試・国際交流係にお問い合わせください。

5. 判定方法

選抜は、成績証明書(70点満点)及び面接(30点満点)の総合判定によります。

ただし、面接点が10点以下の者は、総得点に関わらず不合格とします。

6. 選抜日時及び会場

選 抜 日	時 間	選 抜	受検会場
令和元年5月25日（土）	9：00～9：20	受 付	沼津市大岡3600 沼津工業高等専門学校
	9：30～	面 接	

※ 個人面接は1人20分程度、自己申告書に基づいて行います。

なお、他教育プログラム（本校以外）からの受検者は、出身学校における学習内容についても質問します。

7. 合格者発表

令和元年5月30日（木）正午

本校学生玄関横の掲示板及び本校ホームページの入学案内において発表するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話による問い合わせには応じられません。

（注）合格通知書に同封します「入学確約書」は令和元年6月6日（木）までに提出してください。豊橋技術科学大学との先端融合テクノロジー連携教育プログラムに出願する者についても同期間となります。

8. 合格とならなかった者の学力選抜の受検

推薦選抜の結果、合格とならなかった者で学力選抜の受検を希望する者は、「V 学力選抜」に定めるところにより、再度出願の手続きを行ってください。

なお、この際は卒業（見込）証明書、成績証明書及び自己申告書の提出は要しませんが、検定料は必要です。

V 学力選抜

1. 出願資格

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は令和2年3月に卒業見込みの者
- (2) 高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）の専攻科の課程を修了した者又は令和2年3月に修了見込みの者のうち、学校教育法第58条の2（同法第70条第1項及び第82条において準用する場合を含む。）の規定により大学に編入学することができる者
- (3) 短期大学を卒業した者又は令和2年3月に卒業見込みの者
- (4) 専修学校の専門課程を修了した者又は令和2年3月に修了見込みの者のうち、学校教育法第132条の規定により大学に編入学することができる者
- (5) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者又は令和2年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は令和2年3月までに修了見込みの者
- (7) 我が国において、外国の短期大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における14年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者又は令和2年3月までに修了見込みの者
- (8) その他本校において、高等専門学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

2. 入学願書受付

期 間	令和元年6月3日（月）～令和元年6月5日（水） 郵送の場合も令和元年6月5日（水）午後5時までに必着のこと。
時 間	午前9時～午後4時30分
場 所	沼津市大岡3600（〒410-8501） 沼津工業高等専門学校 学生課入試・国際交流係

3. 出願手続

(1) 出願は、次に掲げる提出書類を「本校学生課入試・国際交流係」宛に提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず書留郵便とし、封筒の表に専攻科出願書類在中と朱書きしてください。

(2) 提出書類

入学願書	本校所定の用紙に、本人が記入すること。 志望コースは第三志望まで希望できる。
写真票	本校所定の用紙に、写真を貼付すること。 貼付する写真は、出願時前3か月以内に撮影した上半身・正面向・脱帽・無背景のもの。写真の大きさは縦5cm×横4.5cm。 写真裏面に第一志望コースと氏名を記入すること。
受検票	本校所定の用紙に、本人が記入すること。
卒業(見込)証明書	出身学校長又は学長が作成したもの。 ただし、沼津工業高等専門学校に在学する志願者は提出を要しない。
成績証明書	出身学校長又は学長が作成し厳封したもの。 ただし、沼津工業高等専門学校に在学する志願者は提出を要しない。
自己申告書	本校所定の用紙に、本人が直筆で記入すること。希望する指導教員がいる場合は、希望指導教員名も記入すること。
TOEICスコア報告書	本校所定の用紙に、選抜日を基準に2年以内に取得した最高スコアを記入し、TOEIC公開テスト又はTOEIC IPテストの「Official Score Certificate (公式認定証)」又は「Score Report (個人成績表)」の原本を添えて提出すること。
検定料振込用紙	本校所定の用紙で検定料16,500円を金融機関窓口で振込のうえ、⑧願書添付用通知書を入学願書の裏に貼付すること。 ただし、ゆうちょ銀行からの振込については、添付の入学検定料振込用紙に書いてある注意点を参照すること。
受検票及びTOEICスコア返信用封筒	封筒(長形3号)に本人の住所・氏名・郵便番号を記入し、242円切手(特定記録料金を含む)を貼付したもの(願書を直接持参する場合は不要)。
その他	① 現に日本国に在住している外国人は、居住する市区町村長の交付する「住民票」を提出すること。 なお、住民票にマイナンバーが記載されている場合には、黒色(マジック等)で塗りつぶすこと。 ② 他教育プログラム(本校以外)からの受検者は、出身学校の学習内容(出席時数、教育目標、講義内容)が確認できる資料を提出すること(様式随意)。 注) 令和元年5月27日(月)午後5時までに学生課入試・国際交流係へ問い合わせをすること。

※TOEIC「Official Score Certificate(公式認定証)」又は「Score Report(個人成績表)」の原本は、願書受付時に返却、又は、受付後に返送します。

(3) 出願上の注意事項

提出書類の不備なものは受け付けません。提出書類に不正の記載があった場合は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

など、誤って納付された検定料は返還しますので、返還請求は本校学生課入試・国際交流係にお問い合わせください。

4. 判定方法

選抜は、学力検査（「数学」又は「物理」又は「化学」200点）、成績証明書（70点）、面接（30点）及びTOEICスコア（100点）の総合判定により行います。

学力検査

検査科目	出題範囲	配点
選 数 学	基礎数学（数と式の計算、方程式・不等式、関数とグラフ、指数関数・対数関数、三角関数、図形と式、場合の数、数列）、平面・空間ベクトル、微積分（多変数を含む）、微分方程式、応用数学（複素解析、ベクトル解析、フーリエ解析、ラプラス変換）、線形代数	200点
択 物 理	力学、熱、波動、電磁気	200点
化 学	分析化学、有機化学、化学工学、無機化学、物理化学、生物化学	200点

※ 学力検査の各科目間で、原則として、30点以上の平均点差が生じ、これが検査問題の難易差に基づくものと認められる場合には、得点調整を行うことがあります。

5. 選抜日時及び会場

選 抜 日	時 間	検査科目等	受検会場
令和元年6月15日（土）	10：30～10：50	受 付	沼津市大岡3600 沼津工業高等専門学校
	11：10～12：10	学力検査	
	13：20～	面 接	

※ 個人面接は1人15分程度、自己申告書に基づいて行います。

なお、他教育プログラム（本校以外）からの受検者は、出身学校における学習内容についても質問します。

6. 合格者発表

令和元年6月20日（木）正午

本校学生玄関横の掲示板及び本校ホームページの入学案内において発表するとともに、合格者には「合格通知書」を送付します。

なお、電話による問い合わせには応じられません。

（注）合格通知書に同封します「入学確約書」は令和元年9月13日（金）までに提出してください。

豊橋技術科学大学との先端融合テクノロジー連携教育プログラムに出願する者は「入学確約書」を令和元年7月22日（月）までに提出してください。

VI 入学手続

入学確約書を提出した者には、別途通知します。

VII 障がいのある者の出願

障がいを有する入学志願者で、受検及び就学上特別な配慮を必要とする場合は、出願に先立ち学生課入試・国際交流係に相談してください。

事前相談は、それぞれの障がいの種類に応じた特別措置の都合上、入学願書受付開始日1週間前までに学生課入試・国際交流係へ連絡してください。

VIII その他の注意事項

- 1 選抜日当日は、「受検票」を必ず携帯してください。
- 2 受検のための宿泊等は斡旋しないので、各自で手配してください。
- 3 入学願書提出後に、住所（郵便受取先）を変更したときは、直ちに、本校学生課入試・国際交流係に届け出てください。
- 4 入学志願者から提出された入学願書等に記載されている情報及び選抜に用いた成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のためにも利用します。
 - (1) 入学後の教育・指導
 - (2) 入学料、授業料の免除申請の審査
 - (3) 奨学金申請の審査
 - (4) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究
- 5 本校に入学を志願する者で、原則としてその主たる家計支持者が平成31年度に災害救助法の適用があった地域に居住していて被災した場合には、申請により検定料が免除されます。免除申請を希望する場合は、事前に学生課入試・国際交流係へ連絡してください。
- 6 豊橋技術科学大学との先端融合テクノロジー連携教育プログラム出願手続きについて、詳細は豊橋技術科学大学の募集要項を確認してください。

専攻科入学願書

受検番号	※
------	---

志	コース名	選抜区分	推薦選抜 ・ 学力選抜 (該当区分に○印)		
		第一志望	工学コース		
		第二志望	工学コース		
		第三志望	工学コース		
志	先端融合テクノロジー連携教育プログラム出願希望			有 ・ 無	
願	ふりがな		男 女	生年月日	平成 年 月 日生
	氏名				
	ふりがな				
者	現住所	〒 _____			電話 〈 〉 -
	出願資格 (最終学歴)	平成 年 月	卒業・修了 学校 学科 卒業見込・修了見込		
	学歴・職歴	自 平成・令和 年 月 日 至 平成・令和 年 月 日			
者	学歴・職歴	自 平成・令和 年 月 日 至 平成・令和 年 月 日			
	学歴・職歴	自 平成・令和 年 月 日 至 平成・令和 年 月 日			
	選択科目	数 学 物 理 化 学			(受検希望科目に○印)
合格通知書等 受信場所	〒 _____			電話 〈 〉 -	

記入上の注意

- 1 ペン又はボールペン（黒）を使用し、志願者本人が記入してください。
- 2 第二、第三志望のない場合は斜線を引いてください。
- 3 学歴・職歴は高等専門学校または高等学校入学から記入してください。
- 4 選択科目は、学力選抜を志望する場合のみ、希望科目を○で囲んでください。
- 5 消せるボールペンは使用しないでください。
※印の欄は記入しないでください。

⑧願書添付用
通知書貼付

(ゆうちょ銀行の場合)
振込依頼書(お客さま控え)
の写し貼付

契
印

令和2年度
専攻科入学志願者 写真票
沼津工業高等専門学校

受検番号	※	
ふりがな		男・女
氏名		
生年月日	平成 年 月 日生	
選択科目		
先端融合テクノロジー連携 教育プログラム出願希望	有・無	
写真貼付 (縦5cm×横4.5cm) 裏面全体にのりをつけて貼ること。 写真裏面に第一志望コースと氏名を記入すること。		

(切り離さないこと)

- ※印の欄は、記入しないでください。
- 消せるボールペンは使用しないでください。

令和2年度
専攻科入学志願者 受検票
沼津工業高等専門学校

受検番号	※	
ふりがな		男・女
氏名		
選択科目		
先端融合テクノロジー連携 教育プログラム出願希望	有・無	
推薦選抜検査時間割		
選 抜 日	時 間	選 抜
5月25日 (土)	9:30~	面 接
学力選抜検査時間割		
選 抜 日	時 間	検査科目等
6月15日 (土)	11:10~12:10 13:20~	学力検査 面 接
(注意)		
1 ※印の欄は、記入しないでください。		
2 この受検票は、大切に保管し、 受検の際に必ず持参してください。		
3 裏面の受検者心得をよく読んで ください。		
4 消せるボールペンは使用しない でください。		

受検者心得

1. 受検者は、本票を常に携帯し、係員の指示に従ってください。
2. 学力検査においては、黒鉛筆・シャープペンシル・シャープペンシルの芯・消しゴム・鉛筆削り・時計（計時機能のみ）以外の使用は禁止します。
なお、時計についてはアラーム、ストップウォッチ機能の使用は認めません。
3. 手荷物は、係員の指示する場所に置いてください。
4. 面接室へは、受検票以外持ち込まないでください。
5. 受付時間 推薦 9：00～9：20
学力 10：30～10：50
6. 受検に関する問い合わせ先
沼津工業高等専門学校
学生課入試・国際交流係
電話 055-926-5962

推 薦 書

令和 年 月 日

沼津工業高等専門学校長 殿

学 校 名

学 校 長 名 印

記載責任者名 印

下記の者は、学業成績、人物ともに優れており、貴校の専攻科入学にふさわしい者と認め、推薦いたします。

記

(ふりがな)
志 願 者 氏 名

生 年 月 日 平成 年 月 日

在 籍 学 科 学科

希望指導教員名

【推薦理由】

注) 他高等専門学校からの志願者は希望指導教員名を記入しなくても結構です。



受検番号	※
------	---

TOEICスコア報告書

氏 名 _____

TOEICテスト「(財)国際ビジネスコミュニケーション協会TOEIC運営委員会実施」において、下記のとおりスコアを取得していますので、報告します。

記

試験の種類	1. 公開テスト	2. IPテスト
試験日	平成 令和	年 月 日
取得スコア	点	

- 選抜日を基準に2年以内に取得した最高スコアを記入してください。
- 「Official Score Certificate (公式認定証)」又は「Score Report (個人成績表)」の原本を添えて出願時に提出してください。確認後、返却又は返送いたします。
- ※印の欄は記入しないでください。



郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

入学検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- ゆうちょ銀行からの振込は口座からのみ可能で、現金による振込は出来ません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- ゆうちょ銀行からの振込は下記の振込依頼書（兼振替払出請求書）を受け取り、窓口でゆうちょ銀行専用の「振込依頼書（兼振替払出請求書）」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出してください。
なお、振込依頼書の「ご依頼人」欄の「おなまえ」欄には、必ず受検者氏名を記入してください。
- 振込後は振込依頼書のお客さま控えを受領し、写しを入学願書の裏に貼付してください。

(注)

- 入学願書提出までに金融機関窓口で振り込むこと。
- ③願書添付用通知書を入学願書の裏に貼付すること。
- 志願者本人の名前で振り込むこと。
- コードは、沼津高専生は現在の6ケタの学籍番号、その他の受検生は999999と記入すること。

④振込金(兼手数料)受取書

(ご依頼人保管)

依頼日	令和	年	月	日		
金額	¥	1	6	5	0	0
送金手数料						
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店					
受取人	普通預金 2141374					
	高専機構本部					
コード	受検者氏名					
	高専・短大名					

上記金額正に受け取りました。

(注意)

- コード・受検者氏名を必ずご記入願います。
- 必ずこの用紙にて振り込み願います。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振り込みは不可。

検定料振込用

③願書添付用通知書

依頼日	令和	年	月	日		
金額	¥	1	6	5	0	0
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店					
受取人	普通預金 2141374					
	高専機構本部					
コード	受検者氏名					
	高専・短大名					

依頼人切り取り

上記のお振り込みになりましたからご通知申し上げます。

この通知書は願書に貼付して下さい。

銀行

支店

取納印

1

②電信扱 振込依頼書 (取扱店保存)

科目

銀行取扱期間 令和元年5月7日～6月5日 (期間後取扱不可)

依頼日	令和	年	月	日		
先方銀行	スルガ銀行 長泉支店 普通預金 2141374					
	高専機構本部					
	沼津市大岡3600					
	(電話 055-926-5723)					
受取人	ご依頼人					
コード	受検者氏名					
	(フリガナ)					
	住所					
	(電話)					

取扱銀行へお願い

- ATM・パソコン・携帯電話等での振り込みは不可。
- 本枠内を打電してください。
- コード・氏名を必ず打電してください。
- ATM・パソコン・携帯電話等での振り込みは不可。

銀行切り取り

保証印字欄

銀行

支店

取納印

2

取納印

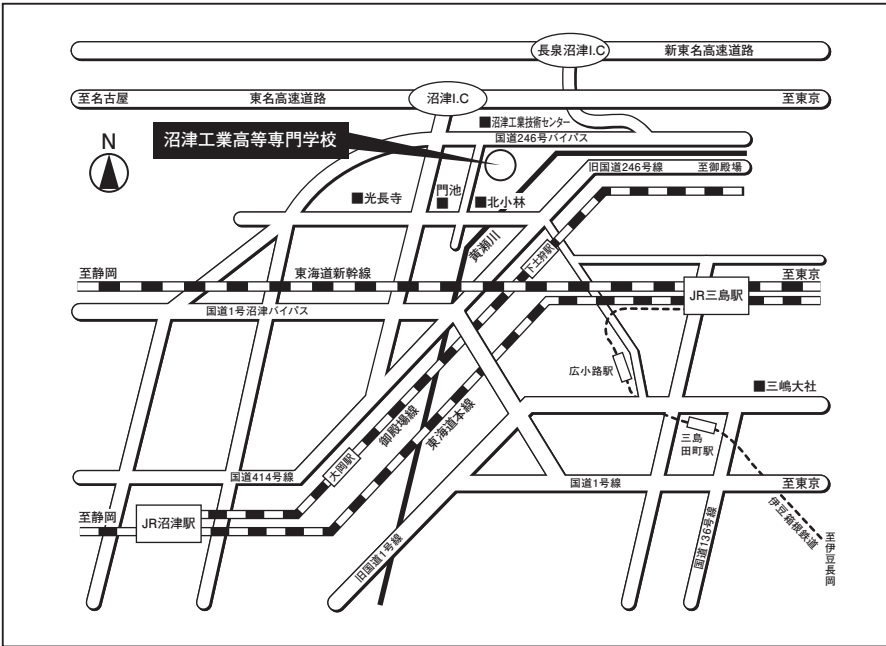
検印 出納 記帳

3



交通案内

● 沼津工業高等専門学校



—富士急シティバス—

JR沼津駅南口より 北小林行き

⑥番乗り場より

「北小林」下車徒歩約10分

—JR御殿場線—

「下土狩駅」下車徒歩20分

—東名高速道路・新東名高速道路—

沼津インターより車で10分

長泉沼津インターより車で5分



成長の芽（正面玄関前ロータリーにて撮影）

受検に関する問い合わせ先

独立行政法人国立高等専門学校機構 沼津工業高等専門学校 学生課入試・国際交流係
〒410-8501 静岡県沼津市大岡 3600
TEL 055(926)5962（学生課直通） E-mail nyuusi@numazu-ct.ac.jp